

回覧														
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

アクティブ長洲小

長洲町立長洲小学校だより
 令和2年6月26日 第4号
 文責 校長 川富 一弘

雨の日の登下校を考える

～送迎車による事故を懸念～

11日(木)の朝、梅雨入りと同時に朝から警報級の大雨でした。私は、その日、西側正門前に立っていました。いつもなら朝7時半前から、登校班で子供達が歩いてくるのですが、この日は子供が一人だったり、二人だったり、通常の登校班で歩いてきたのはわずか2、3班でした。その代わりに、送り届ける車が何台も体育館前に流れていきました。その数およそ40台程…。あまりの多さに、見守り隊の一人が子供の誘導ではなく、車の交通整理に行かれました。反対側の東門に立っておられた見守り隊の方も「30数台の車が入ってきました。」とおっしゃっておられ、梅雨入り初日はおよそ70台前後の自家用車による登校だったようです。(本校の家庭数は160軒です)

我が子を雨の中、濡れて通わずよりは、車で送ってあげたい親心…。各ご家庭の考えなので、学校側として否定はしませんが、メンバーの欠けた登校班で、車で送られてくる友達を横目に、頑張っって雨の中歩いてきた子供達は？と気になります。下校時も、登校班ごとに並ばせて帰しても、駐車場で迎えの車に何名かが乗って、結局登校班もバラバラになって帰っていく様子を見ながら、各家庭間での連絡や調整はできているのか心配をしています。

また、学校近くは東門西門とも道幅が狭く、曲がり角での追突や接触事故が懸念されます。車を降りて移動する子供、歩いてくる子供もその中通ってくるので、こちらも心配です。

学校には、体調不良やその他特別な理由でどうしても車での送迎が必要な子供がいます。その子供達の安全な登下校を保障することも含めて、各家庭で今一度ご判断いただくことをお願いします。

負ける練習

柔道では、まず「受け身」から練習します。投げられる、倒される練習、つまり負ける練習からするのです。怪我から身を守ることを第一に習うわけです。子供の成長も、未発達なうちは、数々の失敗をしますよね。雨がひどければうまく傘が差せず、ずぶ濡れになることでしょう。だからといって雨に濡れる経験をさせないことは、子供達の貴重な経験、学びの場を奪うことにならないでしょうか。

失敗や間違いを経験しながら、子供達は学んでいきます。本人はつらく、苦い経験でしょうが、そんな負ける練習から、その都度考え、乗り越え、克服し、上手になっていくものです。見ている方も辛いし、ハラハラしますよね。でもここが自立に向かう子供になるのか、いつまでも自立できない親の手が要る子供になるのかの分かれ目だと思うのです。

教育は、子供の自立を促すためにあります。子供の将来にとって、大人が、親がどう関わる事が子供にプラスになるのでしょうか。雨の日の登下校だけではなく、いろんな場面での関わり方を私たちは『子供の自立のため』に、を合言葉に考えていきたいものです。

見守り隊の方々への感謝

梅雨の雨の中、昼の猛暑の中、地域のあちらこちらで見守り隊の方々に登下校時の安全についてお世話になっています。そのほとんどがすでに退職された高齢者の皆さんです。本来親が、学校職員が見守るべき立場でしょうが、そんな働き盛りの世代に代わって立ってもらっています。暑い日、寒い日、そして雨の日と本当に申し訳なく、同時に有り難く感じています。ただ、高齢や病気等でメンバー交代も進んでおり、学校運営協議会の北野委員様には、そのメンバーの開拓にお骨折りいただいていることにも感謝しています。

そんな地域の支えに、子供、教職員、保護者も、せめて元気なあいさつ、会釈で感謝の気持ちを伝えたいものです。前号でお伝えしましたが、大人のあいさつに子供が気づき、やがては子供が自主的にあいさつできるようにしていきましょう。

避難訓練実施～不審者侵入対策



予定では4月初めに実施することになっていたこの避難訓練ですが、臨時休校を経てやっと実施できました。設定は、校内に不審者が入ってきたということで、初めて経験する1年生は校舎外へクラスごとに避難行動を、2年生以上は各学級での確認行動を行いました。

2001年に大阪で起きた池田小児童殺傷事件後、全国の学校でこうした不審者対策の避難訓練が行われています。本校でもコロナ禍の中、削れない大切な行事の一つとして実施したところです。6月第4週から1年生だけの下校も始まりました。登校時は集団登校なのでまだよいですが、下校時となると最後は一人になってしまう子供もおり、いざというときの心身の備えが不可欠です。学校での指導だけでは不十分だと思いますので、地域や家庭でもぜひご指導くださいますようお願いいたします。

プール開きが待ち遠しい



19日(金)、梅雨空の合間を縫って、プール掃除を行いました。コロナ禍で一時は自粛も考えましたが、梅雨～夏に適した運動の代替案がないこと、何よりも子供達が楽しみにしていること、長期休業による体力低下を改善する水泳の運動効果、そして、わずかな時間でも泳がせたいという職員の気持ちを受けて、町内学校間で協議し、全校実施することとなりました。一年間放置されたプールはかなり汚れていましたが、なんとか半日の作業でさわやかなブルーが眩しいプールになりました。24日には濾過器等の点検を実施し、29日から水泳の授業が始まります。

こころのアンケート→教育相談

6月は毎年、県下の学校一斉に「心のきずなを深める月間」が設定されており、本校も全児童を対象にアンケートを行い、それを踏まえて担任との個人面談を行うことにしています。

学校が再開して一月が過ぎようとしています。子供目線で必要な支援や指導を拾い上げ、場合によっては学校全体で対応していかなければなりません。もちろん、今回に限らず定期的にこうした取組は行っていきますが、それでも気になることや心配事がありましたら迷わず学校へご一報いただければ幸いです。まずは未然防止に努めながら、そして、いざ事が起きれば速やかに対応することが大切です。ご協力をお願いします。